

取扱説明書

クロノス



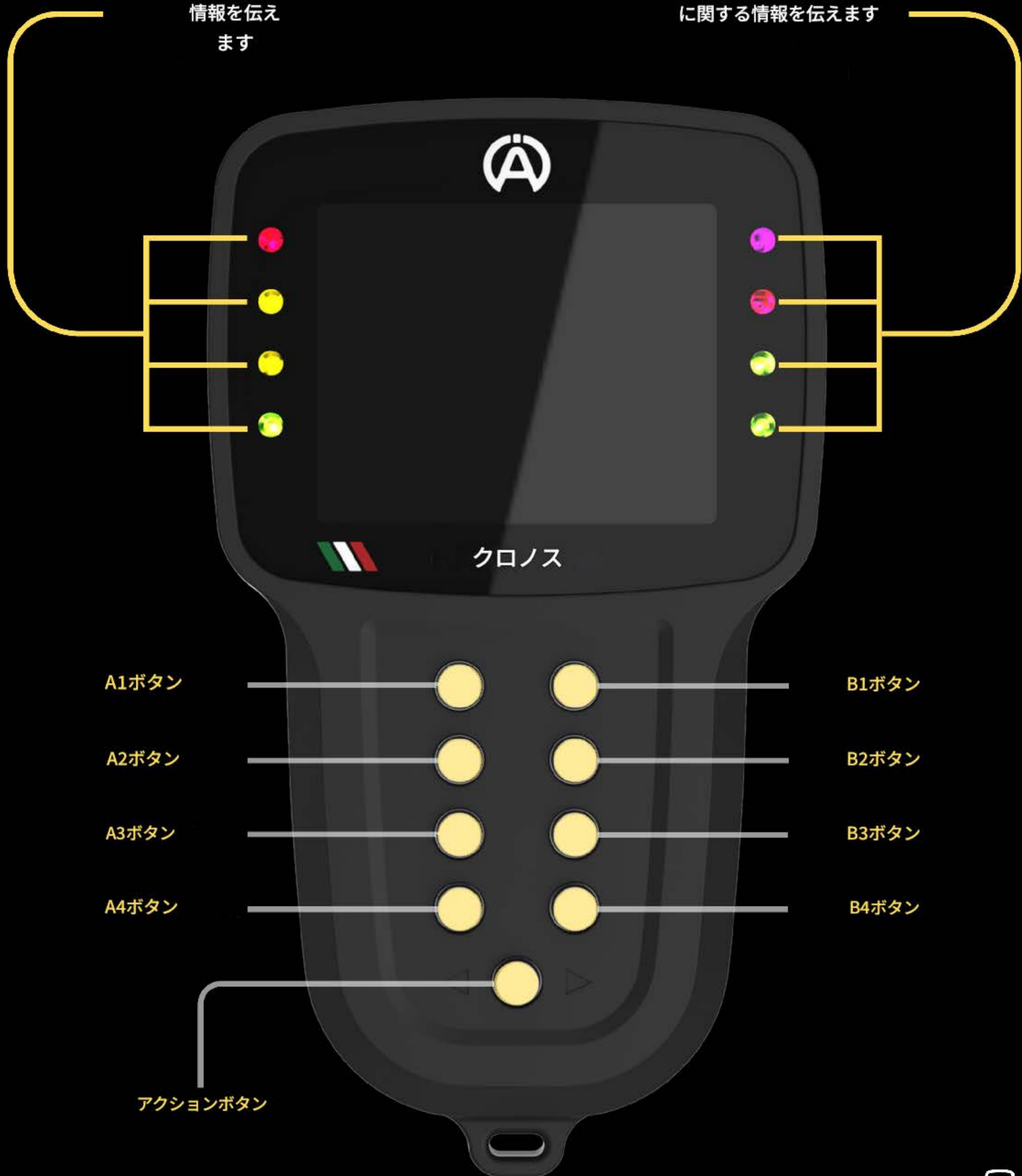
索引

	ページ
• 1. デバイスの概要	3
• 2. オンとオフの切り替え	5
• 2.1 プログラムを選択して電源を入れる	6
• 3. 8つのLEDシステムの動作	7
• デルタコミュニケーションズ	7
• ラップタイムランキング	8
• 4. 機能	9
• 4.1 ホームページ - 停止/開始	9
• 4.2 ベスト	10
▪ 4.2.1 タイミング中 - STARTステータス	10
▪ 4.2.2 STOPステータス	11
• 4.2.2.1 ベストラップ分析	12
• 4.2.2.2 理論的なラップ解析	14
• 4.2.2.3 システム解析	14
• 4.2.2.4 レーススペース分析	15
• 4.3 リコール	16
• 4.4 リセット	17
• 4.5 オフ	18
• 4.6 ブルートゥース	18
• 5. プログラム	19
• 5.1 プログラム1	20
• 5.1.1 開始タイミング	22
□ 5.1.2 セクターの終了/開始	22
□ 5.1.3 ラップの終了/開始	23
□ 5.1.4 タイミング中にデータを削除する	25
■ 5.1.5 停止タイミング	25
• 5.2 プログラム2	26
• 5.3 プログラム3	27
• 5.4 プログラム4	30
• 5.5 プログラム5	31
• 5.6 プログラム6	32
• 5.7 プログラム7	33
□ 5.7.1 開始タイミング	35
▪ 5.7.2 セクターの終了/開始	35
▪ 5.7.3 ラップの終了/開始	36
■ 5.7.4 タイミング中のデータの削除	37
□ 5.7.5 停止タイミング	37
• 5.8 プログラム8	38
• 6. 電池交換	42

1. デバイスの概要

左側の4つのLEDはラップタイム
に関する
情報を伝え
ます

右側の4つのLEDはセクター
タイム
に関する情報を伝えます



A1ボタン

A2ボタン

A3ボタン

A4ボタン

アクションボタン

B1ボタン

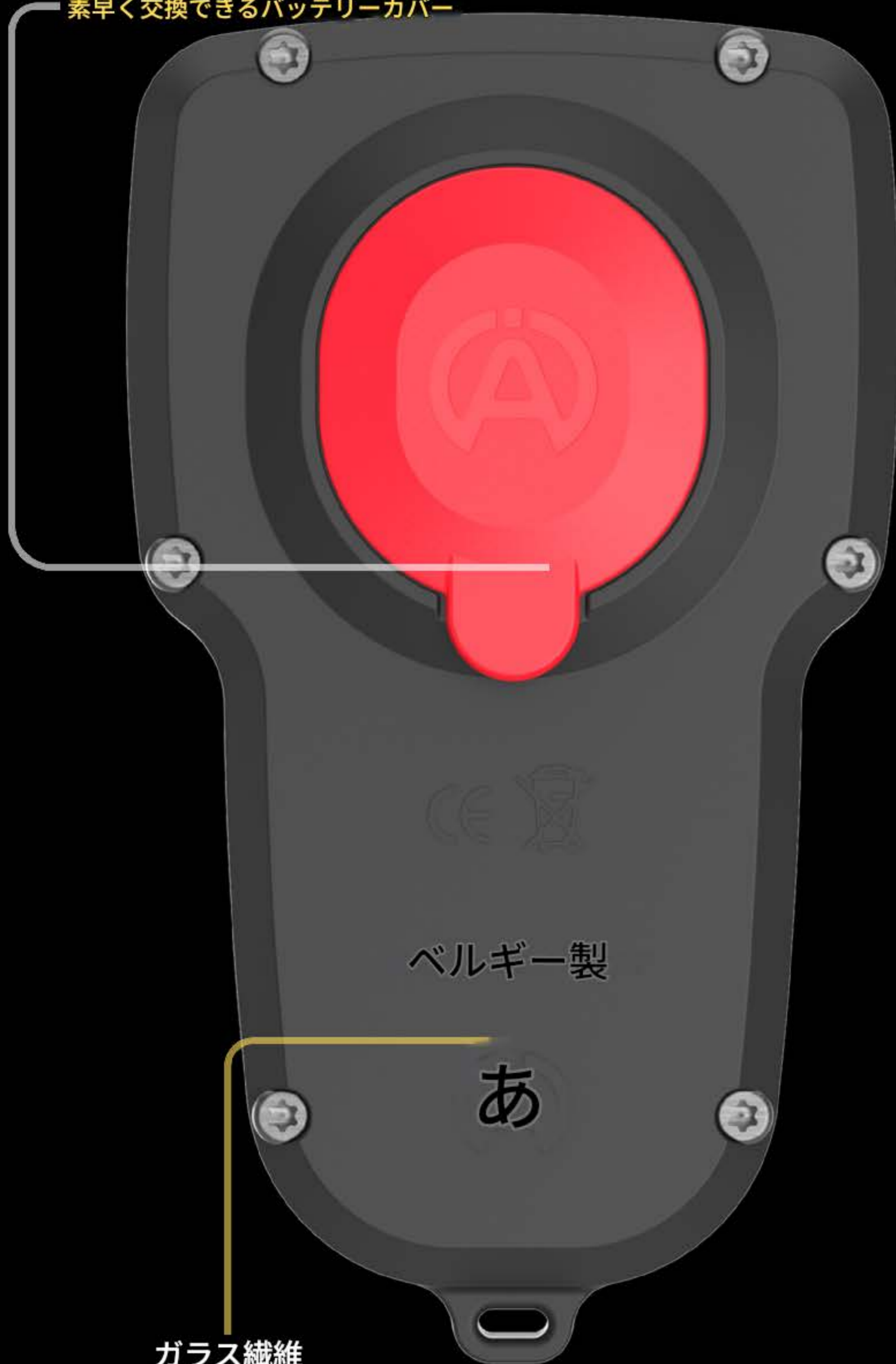
B2ボタン

B3ボタン

B4ボタン

1. デバイスの概要

素早く交換できるバッテリーカバー



ガラス繊維
強化テクノ
ポリマーボディ

2. オンとオフの切り替え

アクションボタンを押してクロノスをオンにします

デバイスは最後に設定されたプログラムを実行します



すべてのストップウォッチが非アクティブの場合（STOPステータス、9ページを参照）、Kronosは10分間操作がないと自動的に電源がオフになります。



Kronosをオフにするには、「オフ」アイコンが選択されるまでアクションボタンを押し、3秒間待ちます。

2. オンとオフの切り替え

2.1 プログラムを選択して電源を入れる

別のオペレーティングプログラムを実行するには、アクションボタンと目的のプログラムボタンを長押ししてデバイスの電源を入れます。

- Pr 1: アクションボタン + ボタン 1
- Pr 2: アクションボタン + ボタン 2
- Pr 3: アクションボタン + ボタン 3
- Pr 4: アクションボタン + ボタン 4
- Pr 5: アクションボタン + ボタン 5
- Pr 6: アクションボタン + ボタン 6
- Pr 7: アクションボタン + ボタン 7
- Pr 8: アクションボタン + ボタン 8



オペレーティングプログラムを変更すると、Kronosメモリ全体が削除されます。

Bluetooth経由でデータをKronosアプリにエクスポートし、スマートフォンやタブレットに保存します（18ページを参照）

3. 8つのLEDシステムの動作

3.1 デルタ通信

- 紫色のLED: すべてのストップウォッチの中で最高のタイム
- 緑色のLED: 対応するストップウォッチのベストタイム
- 黄色のLED: 対応 最速ストップウォッチタイムより1/10秒未満の遅い時間
- 赤色LED: 対応 ストップウォッチの最高タイムより1/10秒以上遅い時間

左のLEDはラップタイム情報を提供し、右のLEDはセクター情報を提供します。

例

左の赤いLED: ラップは同じストップウォッチのベストラップより少なくとも1/10秒遅かった

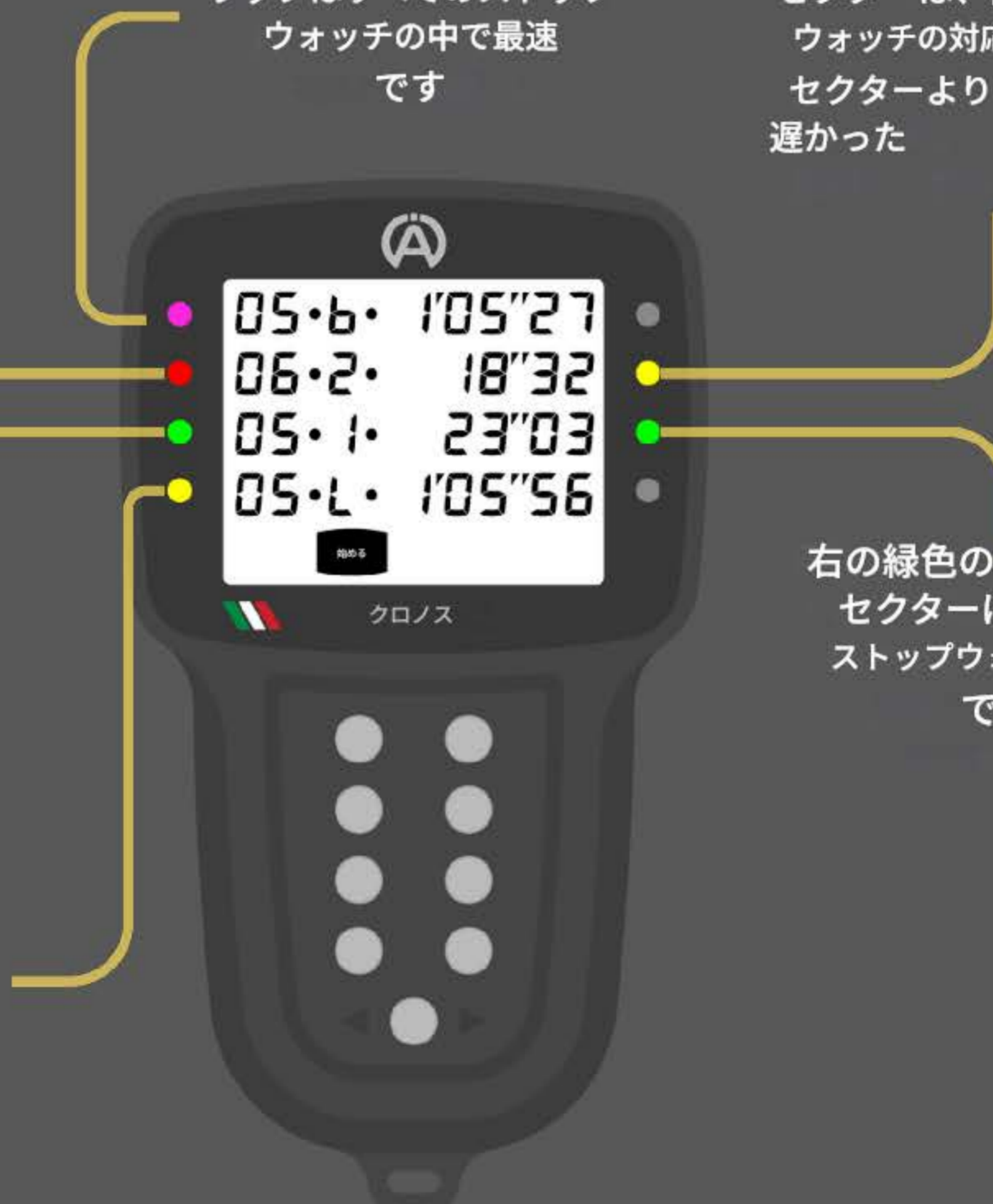
左の紫色のLED: 問題のラップはすべてのストップウォッチの中で最速です

右の黄色のLED: 問題のセクターは、同じストップウォッチの対応する最良セクターよりも1/10秒未満遅かった

左の緑色のLED: 該当するラップは対応するストップウォッチで最速です

右の緑色のLED: 問題のセクターは対応するストップウォッチで最速です

左の黄色のLED: 問題のラップは、同じタイムストップウォッチのベストラップより1/10秒未満遅かった



3. 8つのLEDシステムの動作

3.2 ラップタイムランキング

ベストラップ、理論ラップ、ローリングラップ、レーススペースの分析中、左側のLEDは最速から最遅までのタイムをランク付けします。

● 1° ● 2° ● 3° ● 4°

例

- 最速のパイロットは最初のストップウォッチによって記録された
- 2番目に速いパイロットは4番目のストップウォッチで記録されました
- 2番目のストップウォッチで3番目に速いパイロットが記録されました
- 最も遅いパイロットは3番目のストップウォッチで記録されました



4. 機能

すべての機能は、ホームページからアクションボタンを介してアクセスできます。アクションボタンが押されるたびに、デバイスは次の機能にアクセスします。

機能は次のとおりです。

- ベスト
- 想起
- リセット
- オフ
- ブルートゥース

タイミング中（KronosがSTART状態）にアクセスできるのはBests機能のみであり、他の機能にアクセスするにはKronosがSTOP状態である必要があります。

4.1 ホームページ - 停止/開始

クロノスは、どのプログラムでも起動すると、ホームページ。つまり、パイロットのタイムを計測する画面です。

デバイスはSTOP状態です（STOPアイコンが点灯し、STARTアイコンが点滅します）

STOPステータスでは、デバイスは計時を開始する準備ができています（STARTステータス）。

「A」ボタンの1つを押すと（選択したプログラムに応じて）、Kronosはデータの記録を開始します。

タイミング中（STARTステータス）にアクセスできる機能は「ベスト」機能のみです。

「ベスト」機能は、ユニットがSTARTまたはSTOP状態にあるときに異なる目的を持ちます。



4. 機能

4.2 ベスト

4.2.1 タイミング中 - STARTステータス

計測中に「ベスト」ページにアクセスするには、アクションボタンを押します

各ストップウォッチで記録されたベストタイムが2秒間表示されます。



アクションボタンをもう一度押すと、各ストップウォッチで記録された最後のラップタイムが表示されます。



2秒後、デバイスは自動的にタイミング画面（ホームページ）に戻ります。

プログラム8の使用中は「ベスト」機能は使用できません

4. 機能

4.2 ベスト

4.2.2 STOPステータス

4.2.2.1 ベストラップ分析

例

最速タイムは8周目に第1ストップウォッチ（紫色の左LED）で記録されました。

2番目に速いラップは、5周目に4番目のストップウォッチ（左の緑のLED）で記録されました。

3番目に速いラップは、4周目に2番目のストップウォッチ（黄色の左LED）によって記録されました。

4つのストップウォッチのベストラップの中で最も遅いラップは、11周目に3番目のストップウォッチ（赤い左のLED）によって記録されました。



4. 機能

4.2 ベスト

4.2.2 STOP ステータス

4.2.2.1 ベストラップ分析

ベストラップがスプリットタイムで構成されている場合、ベストラップを構成したセクターから分析が続行されます

ボタン B1 を押すと、最初のセクターの分析が表示されます

右側の LED は、対応するストップウォッチのベストセクターに対するセクターのデルタ時間を示します。7 ページを参照してください

例

ストップウォッチ 1: 最初のセクターは 20 秒 26 分の 1 で完了しました。緑の LED は、最初のセクターがパイロットのベストセクターであったことを示します

ストップウォッチ 2: 最初のセクターは 20 秒 56 セントで完了しました。赤い LED は、第 1 セクターがパイロットのベスト第 1 セクターより少なくとも 10 分の 1 秒遅かったことを示します

ストップウォッチ 4: 第 1 セクターは 20 秒と 100 分の 21 で完了しました。紫色の LED は、第 1 セクターが問題のパイロットにとって最速であり、他のすべてのパイロットと比較しても最速であったことを示します



B1 ボタンを押すたびに次のセクターが表示され、A1 ボタンを押すと前の画面に戻ります

4. 機能

4.2 ベスト

4.2.2 STOPステータス

4.2.2.2 理論的なラップ解析

ベストラップを構成するセクターが分析されたら、ボタンB1をもう一度押して、各ストップウォッチの理論ラップの分析ページにアクセスします（記号「t」）。

左のLEDで最速から最遅までタイムが分類されます

● 1° ● 2° ● 3° ● 4°



4.2.2.3 ローリングラップ解析

次の画面には、ローリングラップ（記号「r」）の分析が表示されます。

左のLEDで最速から最遅までタイムが分類されます

● 1° ● 2° ● 3° ● 4°



4. 機能

4.2 ベスト

4.2.2 STOPステータス

4.2.2.4 レースペース分析

「ベスト」機能の最後の画面は、レースペース分析に関するものです（記号「p」）。

レースペース分析は、平均ラップタイムを提供することでパイロットの一貫性を示し、それを歪めるような時間を除外します。

左のLEDで最速から最遅までタイムが分類されます

● 1° ● 2° ● 3° ● 4°



4. 機能

4.3 リコール

リコール機能は、デバイスのメモリ全体にアクセスしてデータを読み戻すことができます。

リコール機能の最初のページには、各ストップウォッチで記録された合計時間が表示されます。

B1（進む）とA1（戻る）ボタンを使用して、リコール機能のページを参照します。

ラップを構成するセクターのタイムが最初に表示され、次にラップタイムが表示されます。

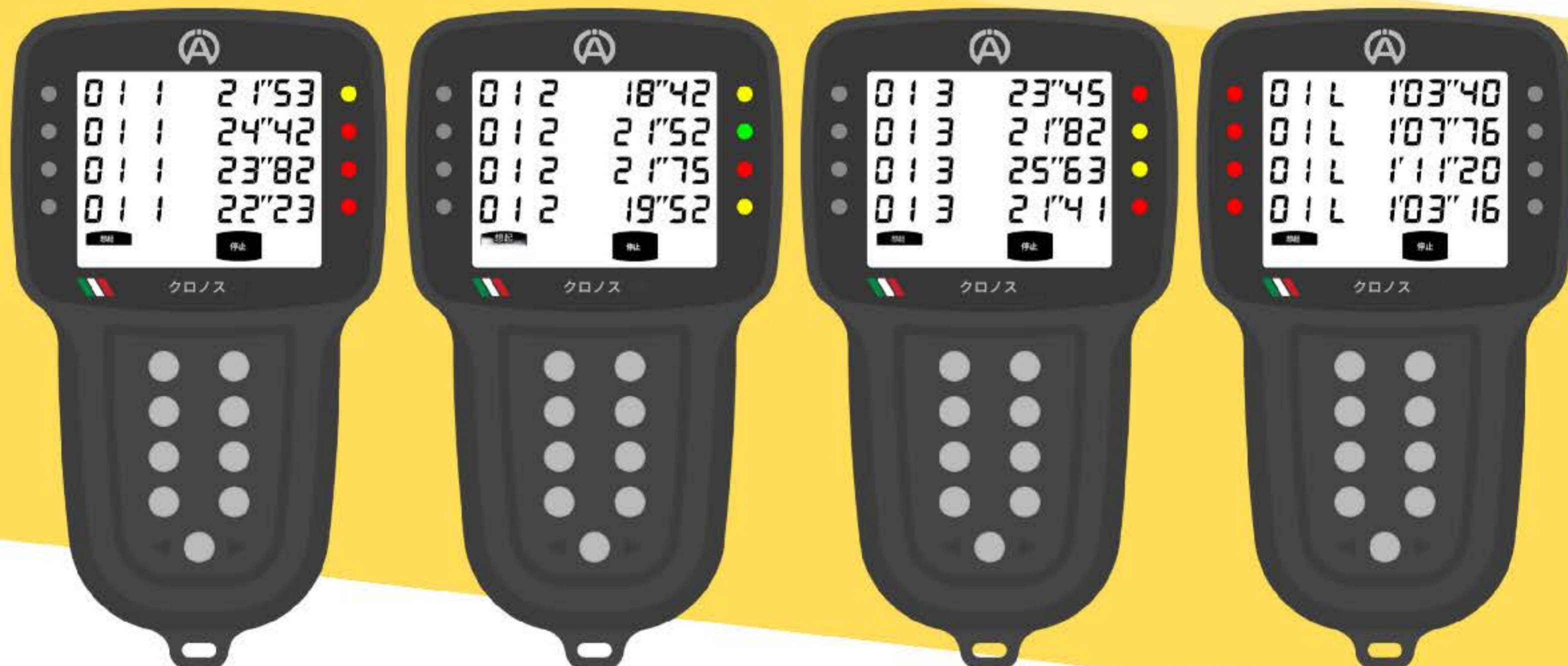


セクター1 ラップ1

セクター2 ラップ1

セクター3 ラップ1

1周目



ラップタイム（左のLED）とセクタータイム（右のLED）のLEDは、表示されているラップ/セクターのギャップを示します。7ページを参照してください。

4. 機能

4.4 リセット

リセット機能により保存されたデータを消去できます

すべてのデータを削除するには
に関連付けられている
ストップウォッチ、長押し
対応するB
ボタン



アクションボタンを長押しする
と、すべてのストップウォッチ
から記録されたすべてのデータ
が消去されます。

4. 機能

4.5 オフ

デバイスの電源をオフにするには、「オフ」機能を選択して3秒待ちます



4.6 Bluetooth

専用アプリケーションに接続するには、Kronos Bluetooth 機能を有効にします。接続に必要な情報が画面に表示されます



セキュリティピンは、スマートフォン/タブレットとの最初の接続時にのみ必要です

5. プログラム

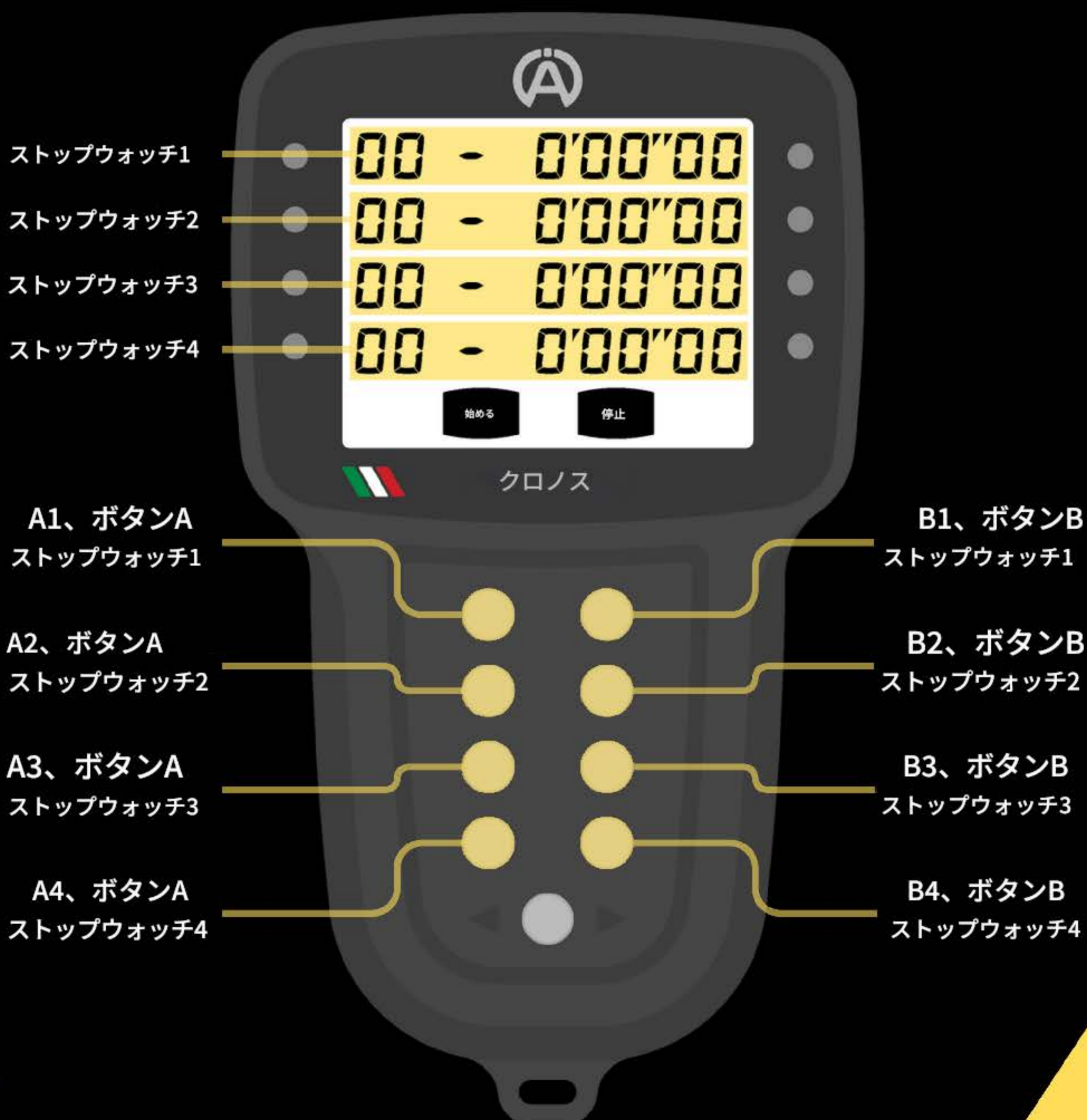
Kronos には 8 つの動作プログラムがあります:

プログラム 1	Kronos は最大 4 つのストップウォッチを同時に管理します
プログラム 2	プログラム 1 と同様ですが、記録中にラップタイムが表示されます
プログラム 3	Kronos は最大 3 つのストップウォッチを同時に管理します。4 番目のストップウォッチはセッション時間を監視します
プログラム 4	プログラム 3 と同様ですが、記録中にラップタイムが表示されます
プログラム 5	Kronos は最大 4 つのストップウォッチを同時に管理し、4 つのストップウォッチは同時に開始されます
プログラム 6	プログラム 5 と同様ですが、記録中にラップタイムが表示されます
プログラム 7	Kronos は最大 2 つのストップウォッチを同時に管理します。ラップ計測中は、計測中のラップの走行時間が表示されます
プログラム 8	Kronos は 1 人のドライバーの連続 4 ラップを計測します

5. プログラム

5.1 プログラム1

プログラム1では、それぞれ独立した4つのストップウォッチを同時に管理できます。



5. プログラム

5.1 プログラム1

画面に表示される情報は次のとおりです。



5. プログラム

5.1 プログラム1

5.1.1 開始タイミング

A1、A2、A3、またはA4 ボタンのいずれかを最初に押すと、対応するストップウォッチが開始されます。デバイスはSTOP状態からSTART状態に切り替わります

アクティブストップウォッチには画面上に2つの点が表示されます



5.1.2 セクターの終了/開始

セクターを区切るには、ボタンB1、B2、B3、またはB4を押して、1つのセクターの計時を終了し、次のセクターの計時を開始します。

各ラップは最大9
セクターまで

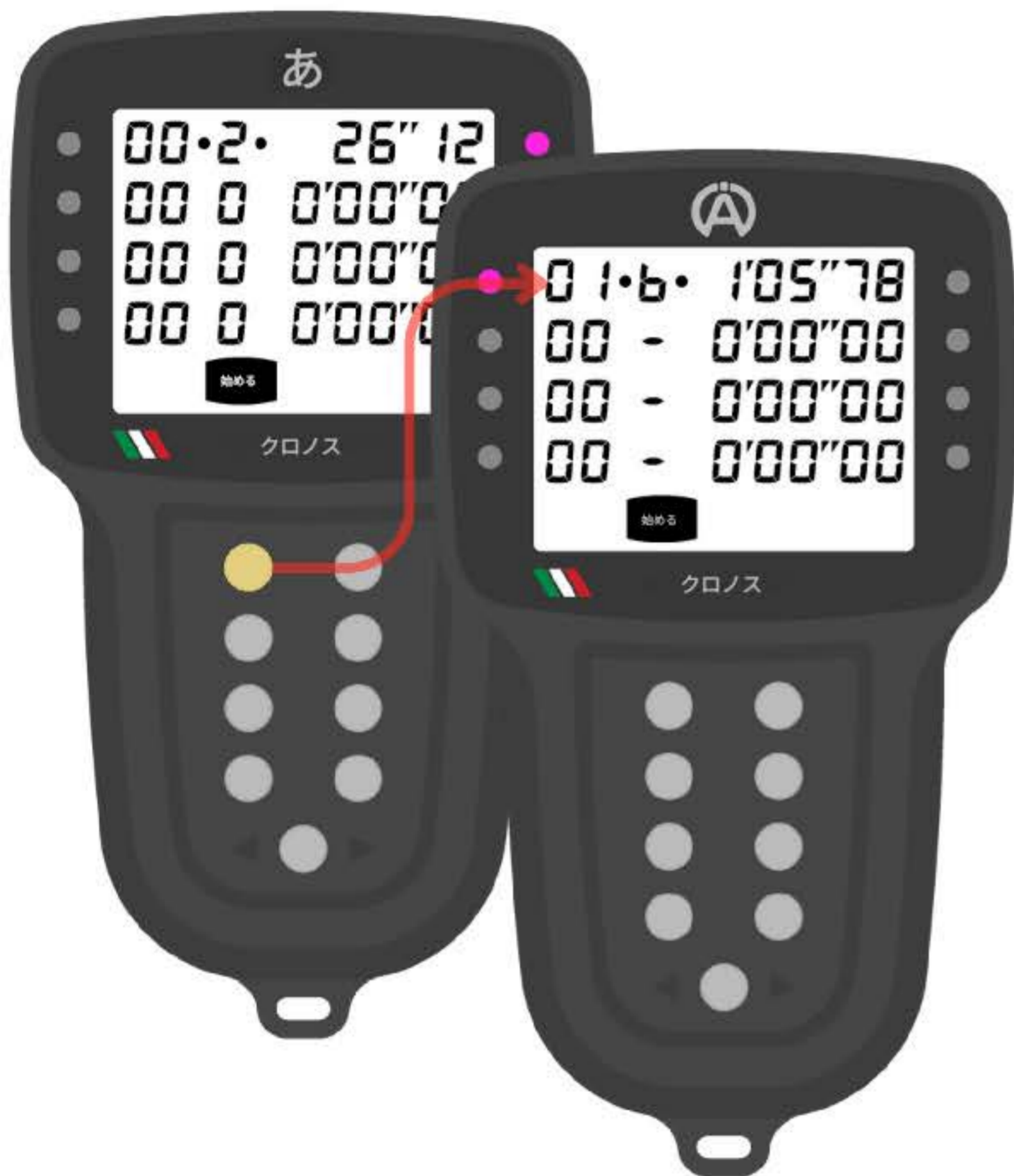


5. プログラム

5.1 プログラム1

5.1.3 ラップの終了/開始

A1、A2、A3、A4ボタンをもう一度押すと、現在のラップが終了し、次のラップの計測が開始されます。



当該ラップにセクターが割り当てられている場合は、最後のセクターの時間が最初に2秒間表示され、その後に完了したラップの時間が表示されます。

ラップが終わるとすぐにデバイスに時間が表示されます

ベストラップの場合は「b」（BEST）の文字が表示されます。そうでない場合は「L」（LAP）の文字が表示されます。



5. プログラム

5.1 プログラム1

例 - 表示される情報

ストップウォッチ1

最後のラップは5周目で、1分5秒27秒で終了した。

左の紫色のLED: ストップウォッチ1のラップ番号5は、実行中のすべてのストップウォッチの中で最速です

ストップウォッチ2

最後に完了したラップは6周目です。

赤色LEDが左に点灯: ストップウォッチ2のラップ6が、同じタイムより少なくとも10分の1秒遅いタイムで完了しました。

ストップウォッチ

6周目の第2セクターは18秒32で走行した。

右のLEDが黄色: 先ほど通過したセクター番号2は、ストップウォッチ2のベスト2番目のセクターよりも10分の1秒未満速かった



5. プログラム

5.1 プログラム1

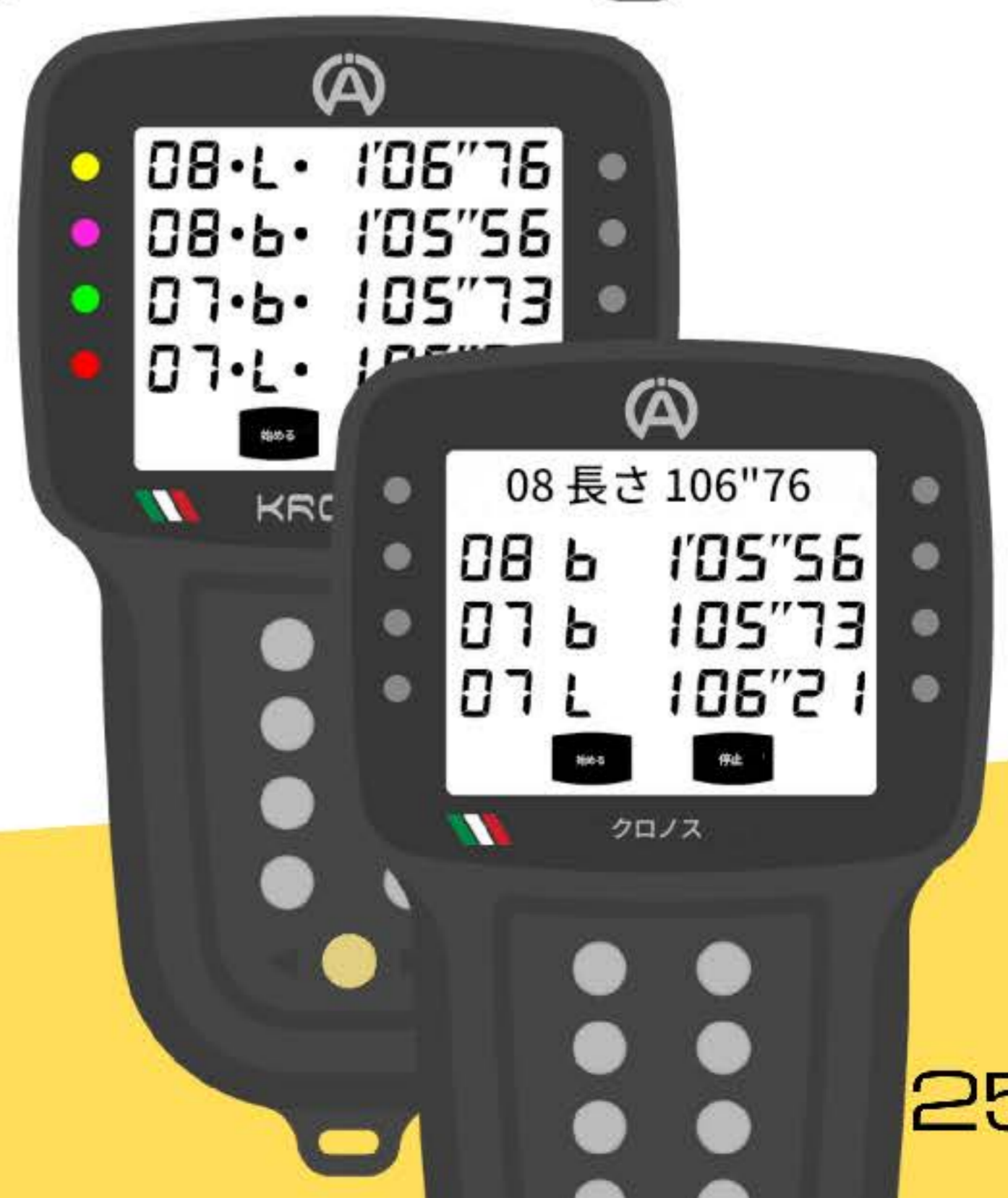
5.1.4 タイミング中にデータを削除する

ストップウォッチを停止し、その瞬間までに記録されたすべてのデータを削除するには、それぞれのAボタンとBボタンを同時に長押しします。



5.1.5 停止タイミング

計測を停止するには、アクションボタンを長押しします。デバイスはすべてのアクティブなストップウォッチを停止し、STOPステータスに切り替わります。9ページを参照してください。



5. プログラム

5.2 プログラム2

プログラム2はプログラム1と同じように動作します。唯一の違いは、計測中に表示されるラップタイムがスクロールすることです。

新しいラップまたはセクターが取得されると、クロノスは完了したラップまたはセクターの時間を5秒間表示し、その後、計測中のラップタイムがスクロール表示されます。

5. プログラム

5.3 プログラム3

プログラム3は、最大3つの完全に独立したストップウォッチと、セッション時間を監視するための参照ストップウォッチを管理します。



5. プログラム

5.3 プログラム3

画面に表示される情報は次のとおりです。



5. プログラム

5.3 プログラム 3

リファレンスストップウォッチはデバイスの STOP または START ステータスとは無関係なので、計測開始前に開始することができ、デバイスの他の機能へのアクセスには影響しません

ボタン A4 を短く押してリファレンスストップウォッチを開始します

リファレンスストップウォッチがアクティブであることを示す2つのダッシュが表示されます



A4 ボタンを長押しすると、基準ストップウォッチが停止します (ダッシュが消えます)

基準ストップウォッチを再開するには、A4 ボタンを押します

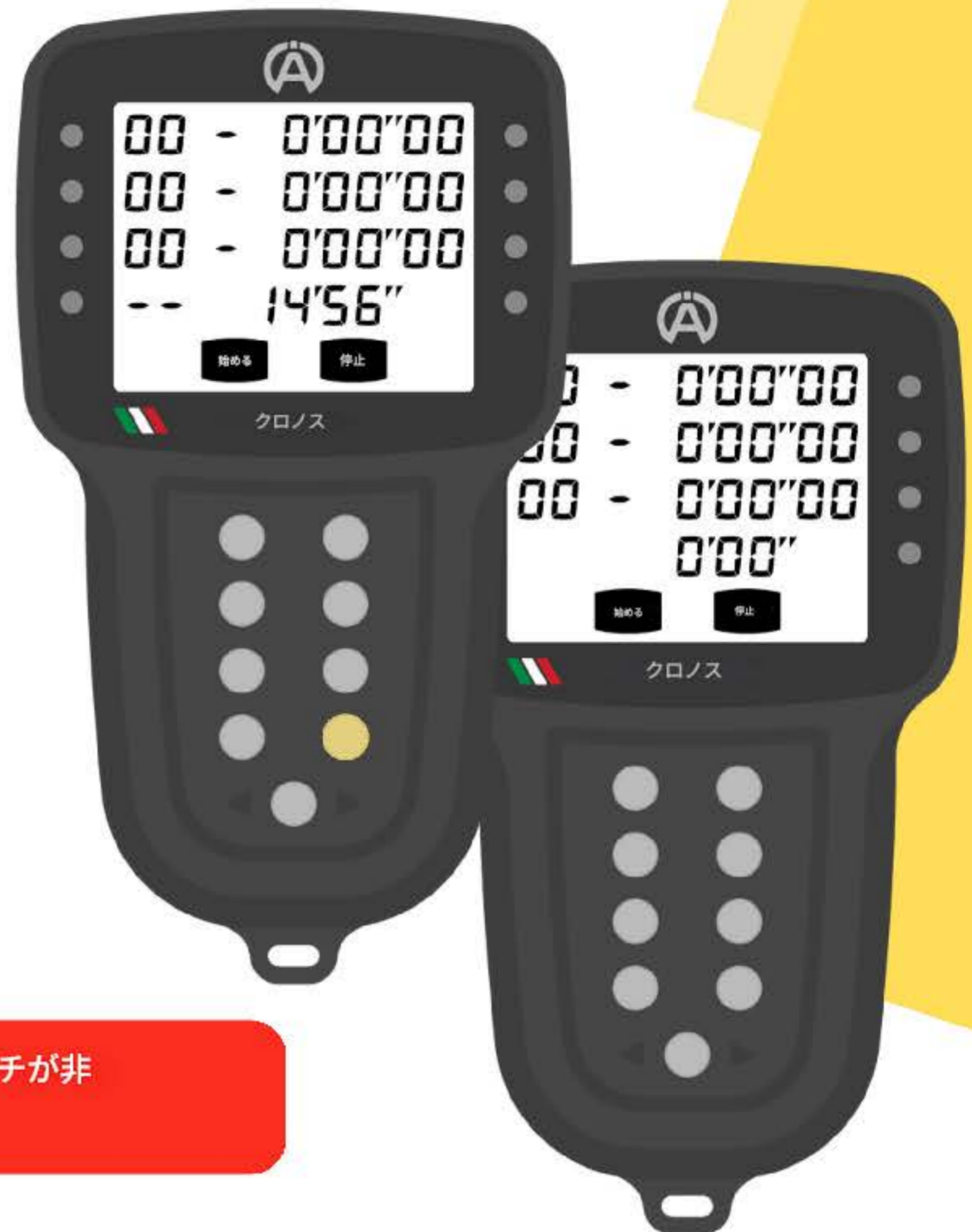
5. プログラム

5.3 プログラム3

ボタンB4を長押しすると、基準クロノメーターがリセットされ停止します。

3つのストップウォッチのタイミング機能はプログラムと同じです。

1、22～25ページ参照



デバイスをオフにするには、参照ストップウォッチが非アクティブになっている必要があります

5.4 プログラム4

プログラム4はプログラム3と同じように動作します

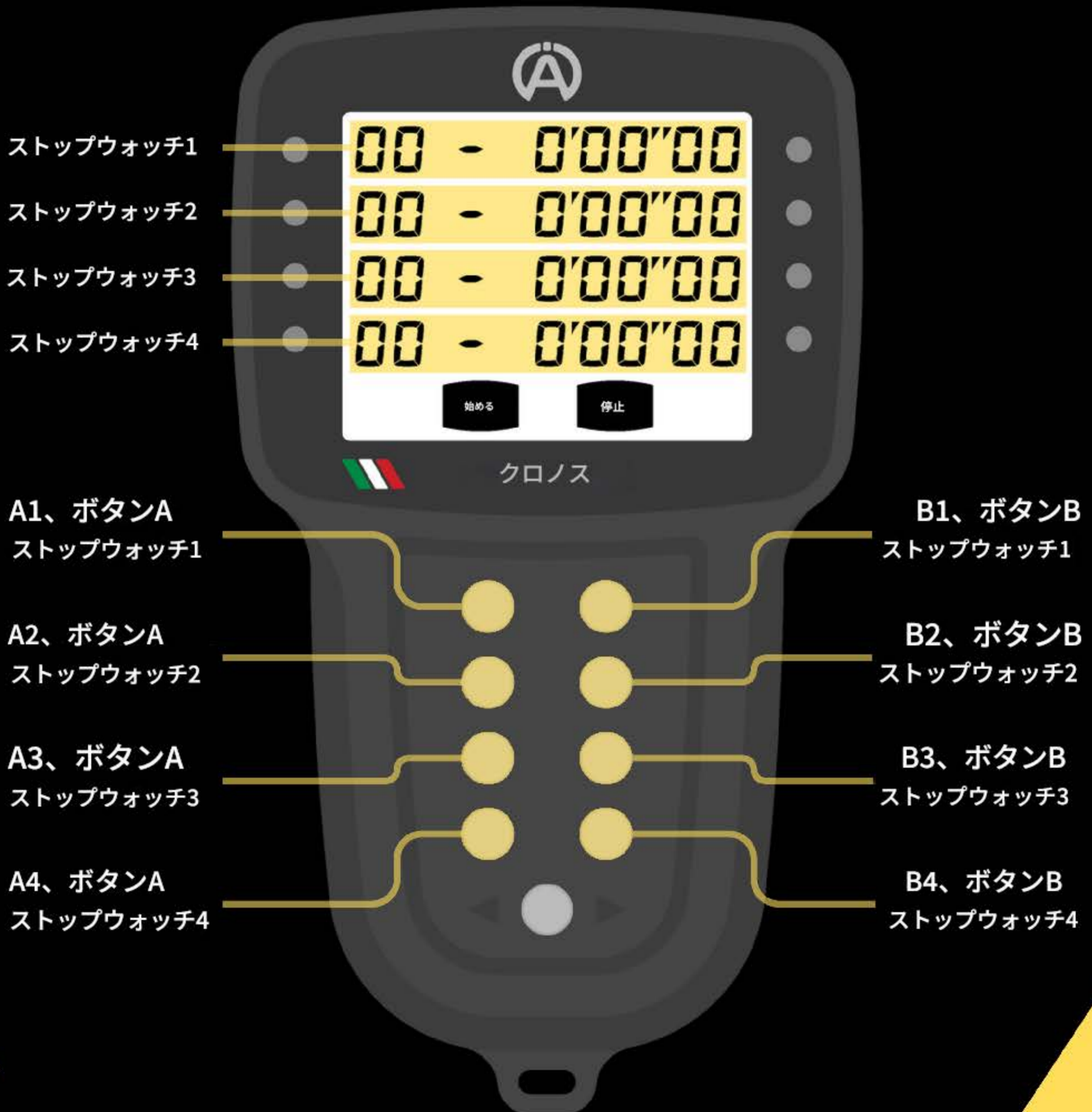
唯一の違いは、計測中に表示されるラップタイムがスクロールすることです。

新しいラップまたはセクターが取得されると、クロノスは完了したラップまたはセクターの時間を5秒間表示し、その後、計測中のラップタイムがスクロール表示されます。

5. プログラム

5.5 プログラム5

プログラム5では、それぞれ独立した4つのストップウォッチを同時に管理できます。プログラム1および2とは異なり、すべてのストップウォッチが同時に開始されます。



5. プログラム

5.5 プログラム5

A1ボタンを押すと4つのストップウォッチが同時にスタートします。

同時計測が開始されると、プログラム5はプログラム1と変わりません。22～25ページの最初のプログラムの説明を参照してください。



5.6 プログラム6

プログラム6はプログラム5と同じように動作します

唯一の違いは、計測中に表示されるラップタイムがスクロールすることです。

新しいラップまたはセクターが取得されると、クロノスは完了したラップまたはセクターの時間を5秒間表示し、その後、計測中のラップタイムがスクロール表示されます。

5. プログラム

5.7 プログラム7

プログラム7では、2つの独立したストップウォッチを同時に管理できます。各ストップウォッチの下には現在のラップタイムが表示されます。



5. プログラム

5.7 プログラム7

画面に表示される情報は次のとおりです。



5. プログラム

5.7 プログラム7

5.7.1 開始タイミング

プログラム7は、2つの独立したストップウォッチを同時に管理できます。ストップウォッチを開始するとすぐに、ラップタイムがその下にスクロール表示されます。ラップが完了するとすぐに、ラップタイムカウンターがゼロから開始し、次のラップを計測します。

A1またはA3ボタンを最初に押すと、対応するストップウォッチが起動し、対応するラップタイムのカウントが開始されます。



5.7.2 セクターの終了/開始

セクターを区切るには、ボタンB1またはB3を押して1つのセクターの計時を終了し、次のセクターの計時を開始します。

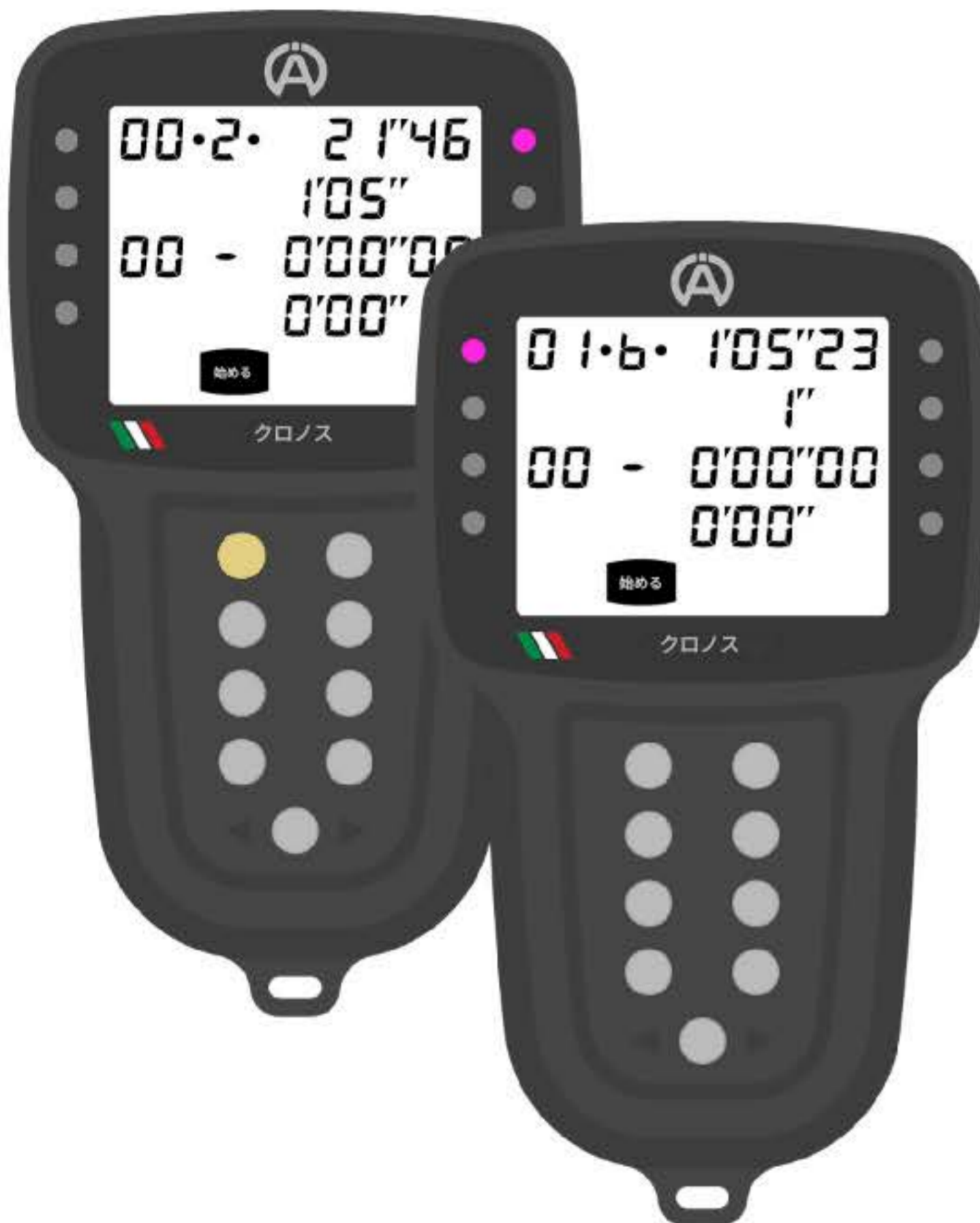
各ラップは最大9
セクターまで

5. プログラム

5.7 プログラム7

5.7.3 ラップの終了/開始

A1またはA3ボタンをもう一度押すと、現在のラップが終了し、次のラップの計測が開始されます。



ラップが終わるとすぐにデバイスに時間が表示されます

ベストラップの場合は「b」(BEST)の文字が表示されます。そうでない場合は「L」(LAP)の文字が表示されます。

下のカウンターは新しいラップの時間をゼロからカウントし始めます



当該ラップにセクターが割り当てられている場合は、最後のセクターの時間が最初に2秒間表示され、その後完了したラップの時間が表示されます。

5. プログラム

5.7 プログラム 7

5.7.4 計時中のデータの削除

ストップウォッチを停止し、その時点までに記録されたすべてのデータを削除するには、それぞれの A ボタンと B ボタンを同時に長押しします



5.7.5 計時の停止

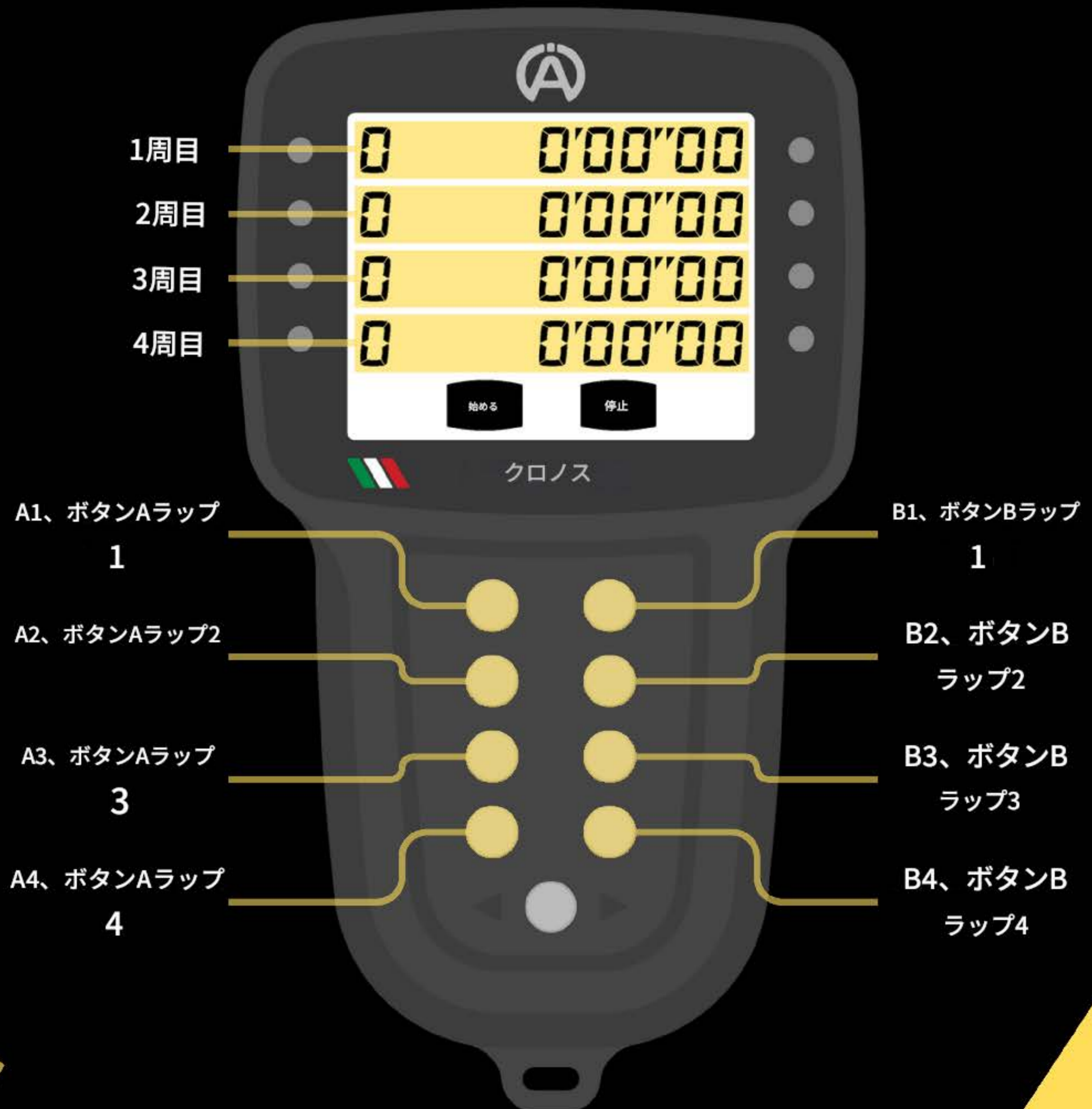
計時を停止するには、アクションボタンを長押しします。デバイスはアクティブなすべての動作を停止します。ストップウォッチをストップ状態に切り替えます。9 ページを参照してください



5. プログラム

5.8 プログラム8

プログラム8では、同じドライバーの4周連続のタイムを計測し、計測したラップのデータを表示することができます。



5. プログラム

5.8 プログラム8

プログラム8では、同じドライバーの4周連続のタイムを計測し、計測したラップのデータを表示することができます。



5. プログラム

5.8 プログラム8

ボタンA1を最初に押すと、最初のラップの計測が開始されます。

最初のセクターが計測中であることを示すために数字1が表示されます

ラップタイムは10分の1秒単位で表示されます



セクターを区切るには、ボタンB1を押してセクターのタイミングを停止し、次のセクターのタイミングを開始します。

計測した累積セクターの時間が表示され、5秒後にラップタイムが再び表示され、10分の1秒単位でスクロールします。



5. プログラム

A2を押すと最初のラップが停止し、2番目のラップが始まります

最後のセクターの累積時間、つまりラップの合計時間は、最初のラップストップウォッチに表示されます。

走行時間は2周目のストップウォッチに表示されます



1周目のタイムを表示した後、2周目の最初のセクターを計測している間、1周目のストップウォッチには最初のセクターのタイムが表示されます。

プログラム8は、セクターを計測するときに、常に前のラップで同じセクターにかかった時間を表示します。

4周目と最後のラップを停止するには、ボタンA4をもう一度押します。デバイスはSTOP状態に切り替わり、計測を停止します。

7.1 電池の交換

電池を交換するには、適切なタブを引いて、クロノスの背面にある赤いゴム製のキャップを外します。

高品質のCR2450電池
のみを使用してください



デバイスのバッテリーを取り外すには、図に示すように、親指でバッテリーラッチをゆっくりと押し下げます。

7.1 電池の交換



新しい電池をプラス側を上に向けて挿入し、ラッチがカチッと音がするまでクロノスに押し込みます。次に、赤いゴム製キャップを取り付け直し、水の浸入を防ぐために正しく挿入されていることを確認します。

V: 0.0.1

アルファノ

アルファノ